

# A案

『B』をモチーフに、波状パターンを組み合わせたもの。波状は、『B』の左側の膨らみを抽象化した線。  
 そこから、グリーンウォール・絡みつく熱帯植物・樹木の木目や年輪・温浴施設の湯気など、この施設の持つ様々なものを色々とイメージさせることができる形状として採用



**BOTALASSIAN  
RESORT**



**BOTALASSIAN RESORT**

サイン展開例



植物・自然をベースに、来た人が使い方によってそれぞれの様々な楽しみ方ができる施設なので、半分を余白にし、来た人の経験・思い出などを組み合わせてそれぞれの『B』を作ってもらいたいという思いをベースにしたマーク。実際の運用例として、余白部分に色やパターンなどを組み合わせることで、個別の各施設のアイコンとして利用することも想定。

# B案

BOTALASSIANの『B』と、RESORTの『R』を組み合わせ、マーク化を目指した案。

**BOTALASSIAN**  
**RESORT** 

  
**BOTALASSIAN**  
**RESORT**

 **BOTALASSIAN RESORT** 

『B』 『R』 の組み合わせの形状から、植物をイメージさせる案。

# C案

熱帯植物園の建物の形状をモチーフにした案。完全なトレースではなく、鋭角部分を緩めることで柔らかい印象になる、ストレートな花卉の印象から離すことを目指した。  
 内側に波状パターン、植物イメージを部分的に組み込む。多種多様な植物、複数の施設、それらを利用する来園者、大きく3つのこの要素が交わり重なる場所ということをイメージした案。  
 平面的にも立体的にも感じ、家紋のようにも西洋のエンブレムのようにも見え、古いものにも現代的にも受け取れる、捉える側の見方によってイメージが流動的なマークにすることで  
 来園者それぞれの楽しみ方次第で様々な『BOTALASSIAN RESORT』が見えてくる、という考えを込めたマーク。  
 流動的とはいえ、輪郭は実際の施設の形状を連想させるものでもあるので、施設のイメージ自体から離れすぎることはない。



**BOTALASSIAN  
RESORT**



**BOTALASSIAN  
RESORT**



**BOTALASSIAN RESORT**

# D案

## ■ concept | デザインコンセプト

茨城県を象徴する木 梅をモチーフに使用



上下に配置し頭文字の B とする  
植物を連想させるシェイプに構成しています。



シンボルは黄金比  
を採用 (5:8)

**BOTA  
LASSIAN  
RESORT**

ロゴタイプは  
モダンで洗練されたイメージのフォントを  
メインに、RESORT はより高級感のある  
セリフ体を使用。  
BOTA と LASSIAN を分けることにより  
リズムが生まれ可読性を上げました。  
ロゴタイプとして  
未長く愛されるシンプルなフォントを採用しています。

## ■ Mock up | 展開イメージ



## ■ Variations | デザインバリエーション



## ■ Color | カラー



柔らかな暖色をメインに梅のイメージであるピンクが映える配色にしています。  
4色を使用し四季折々の植物が楽しみ一年を通して充実した施設を表現しています。

## ■ Variations | カラーバリエーション

